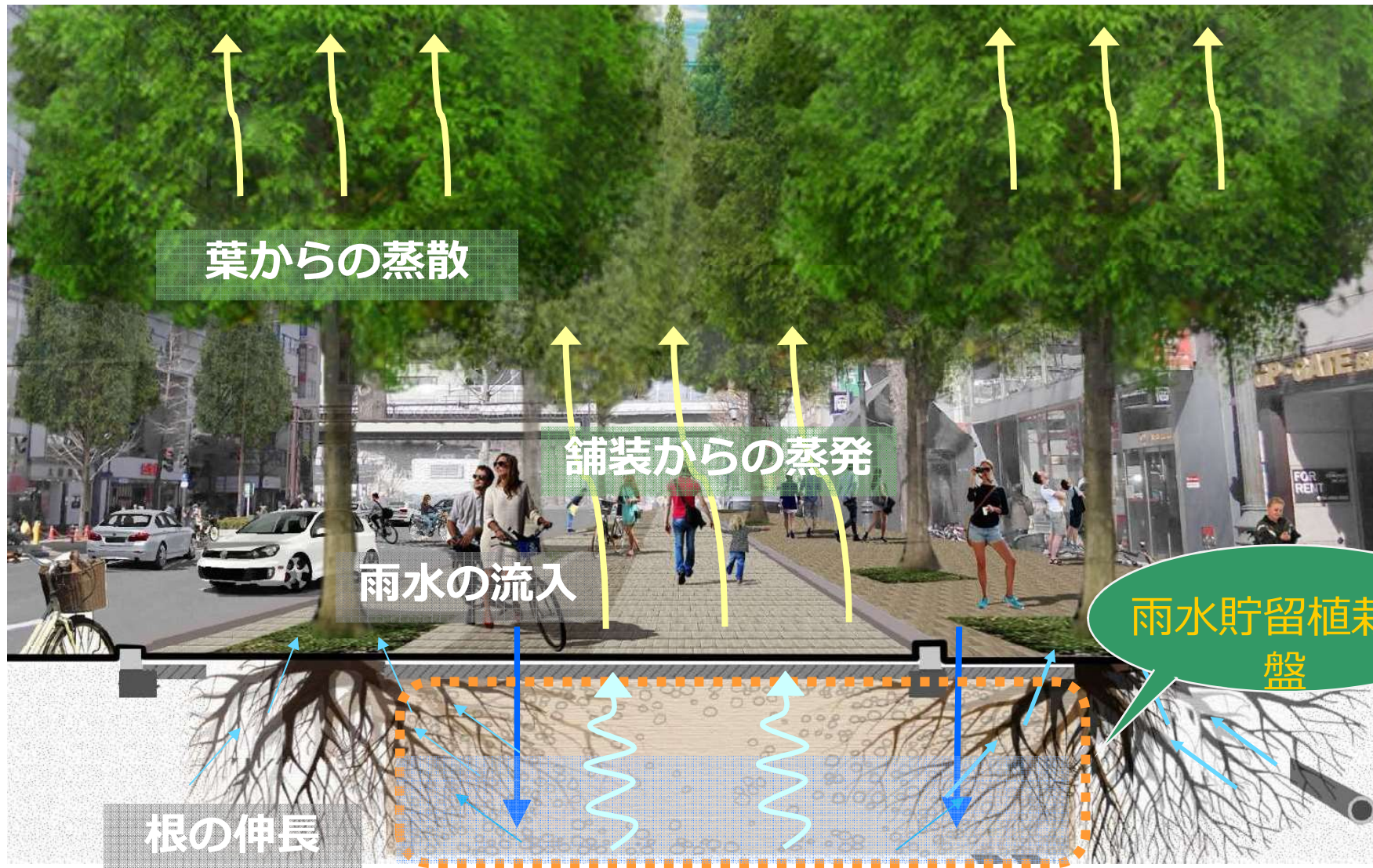


これからの街づくり



従来の歩道下部は固く締め固められることで
雨水は地中に浸透しづらく、街路樹にとって劣悪な環境です





歩道下部に**雨水貯留植栽基盤**を設置することにより
雨水循環による**防災力の向上**、**緑による街の魅力向上**を実現

グリーンインフラを実現させる基盤材

■ 単粒度の骨材に腐植をコーティングした特殊砕石

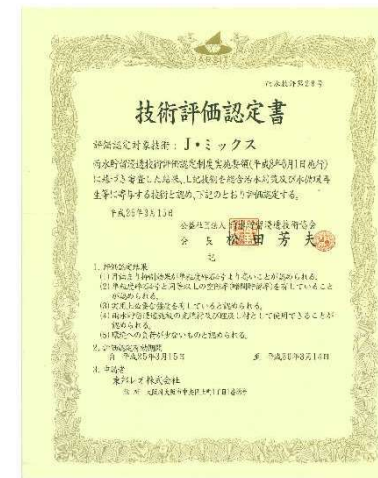
「基礎として締め固められた支持力のある硬さ」と
「根系が伸長できる柔らかさ」という、
相反する土壌条件を同時に満たした基盤構造。



Jミックス・GAM

【特長①】 雨水流出抑制対策として

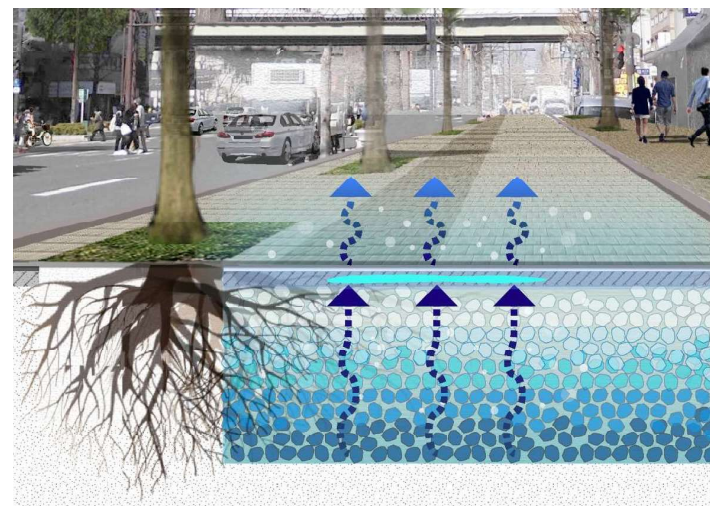
骨材の空隙率は単粒度砕石4号の一般的な空隙率と比べて約**1.4倍**の41%あります。
この空隙部分に雨水を貯めることによって
雨水流出抑制が可能になります。



雨水貯留浸透技術協会認定品

【特長②】 クールエリアの創出

骨材が腐食でコーティングされているため、貯留浸透層貯めた雨水を腐食を通じて地表面にしみ上げることができます。これにより貯留浸透層に貯めた雨水を舗装面までしみ上げることによって、打ち水効果や植物への水やりとして雨水を利用することが可能となります。



水の連続性によって蒸発が促され、冷える歩道が実現できる

【特長③】 植栽基盤として併用可能

骨材が腐食でコーティングされているため植物の根を誘引することができます。これにより植栽柵を雨水流出抑制対策の施設として活用することができます。



定植4年4ヵ月後のクスノキで根系の発達状況を確認

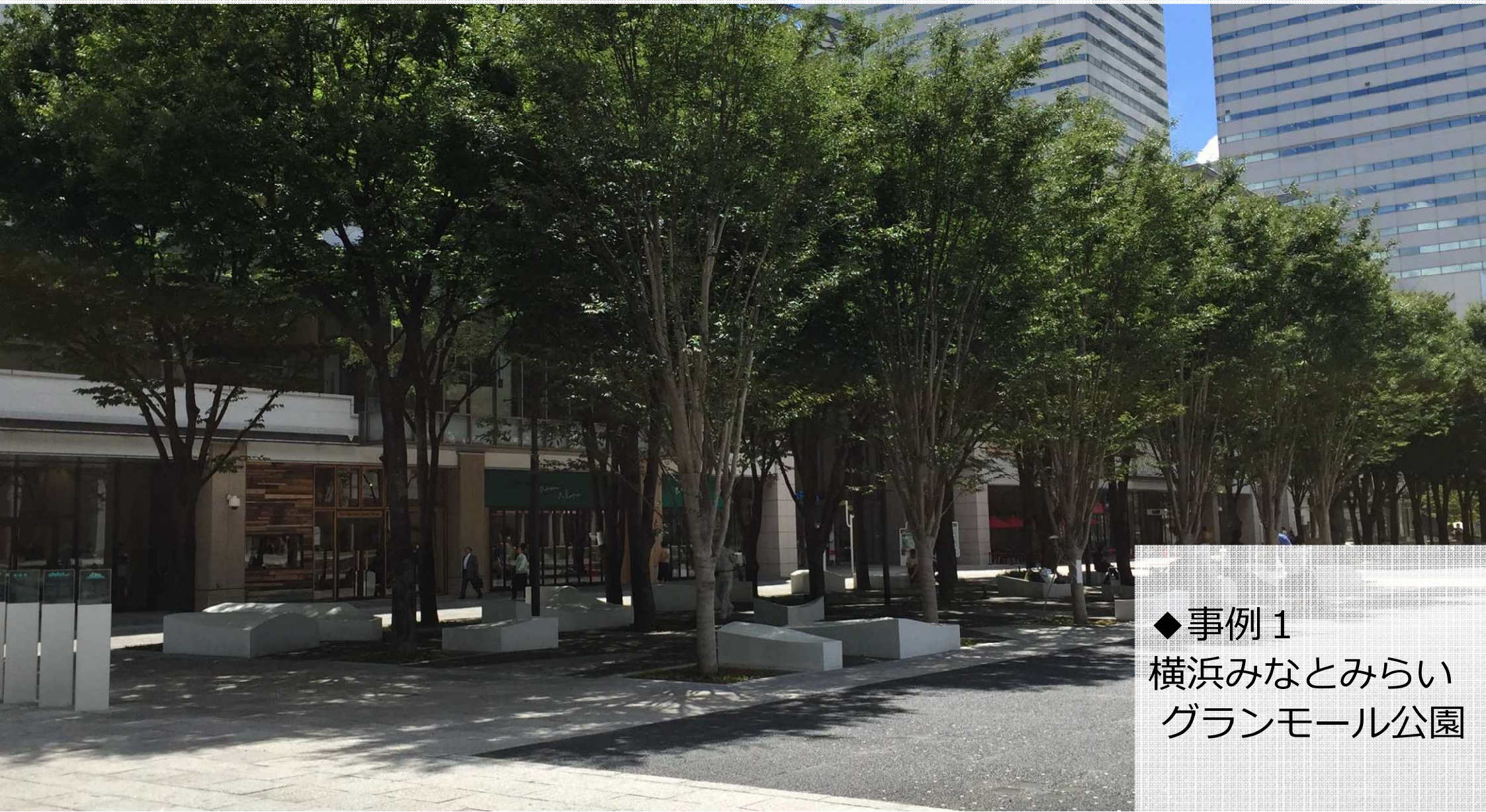
腐植コーティングあり

砕石



根系の伸長に明らかな違いが確認された

700mの地下水脈の形成



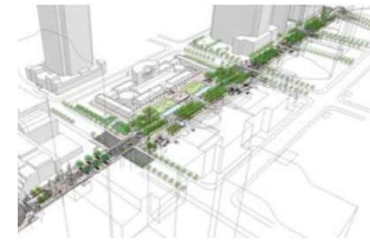
◆事例 1
横浜みなとみらい
グランモール公園

グランモール公園



▼ 雨水を利用した打ち水効果

舗装の下部に、あたかも地下水脈のように雨水貯留機能を持つ砕石層を設け、植栽への水の供給と、保水舗装と連動した**打ち水効果により夏の涼しさを体感できる仕組み**を導入しています。



▼ 美観形成にも貢献

舗装の下部に雨水を貯留できると同時に舗装下部に根を誘引することによって根の成長域を広く確保することができます。それによって樹木は健全に生育し、樹形の整った木が育つことができます。舗装を盛り上げらせる根上がりの対策にもなり、**その空間の美観形成に貢献します。**

